

Moving

ムービング

2016.10

CONTENTS

お知らせ

P11

おすすめ講座紹介

P10

熊本地震の現場から
「男女共同参画センター」にできること」

特集2

P9

生涯を通じての女性のメンタルヘルス
第2回「妊娠・出産編」
小倉記念病院 緩和ケア・精神科
医師 奥野 香苗

誌上講座

P8

講座報告

P7

ムーブフェスタ
2016 報告

P4

特集1
製造業女子
ものづくりの職場で輝く女性たち

P2

製造業女子

ものづくりの職場で 輝く女性たち

みなさん、“ものづくり”と聞いて、これは男性の仕事だと決め付けていませんか？じつはとても女性が活躍できる分野なのです。そこで今回は実際に製造業で活躍している女性について紹介します。

公立大学法人北九州市立大学
地域戦略研究所 教授

よしむら ひでとし
吉村 英俊

リオデジャネイロ・オリンピックでは多くの女性アスリートが活躍しました。また東京都知事をはじめ、台湾・韓国・英国・ドイツなどでは女性が国のトップとして国民をリードしています。

一方、一億総活躍社会の実現に向け、女性・高齢者・障がい者・外国人など、一人ひとりが能力を最大限に発揮する「ダイバーシティ経営」が注目を集めています。今年4月に「女性活躍推進法」が施行されるなど、女性の活躍がこれまで以上に期待されています。

北九州市は1901年に官営八幡製鐵所が操業を開始して以来、四大工業地帯の一つとして、わが国の近代化を牽引してきました。現在もTOTOや安川電機など、世界に冠たる企業が数多く活躍しています。

昨年秋に、市内のものづくり企業(21社)を訪問して、女性の採用や仕事内容、子育て支援などについて、現状をお聞きしました。その結果※1、どの経営者の方も女性の能力を高く評価し、採用及び活用を真剣に考えていることが分かりました。

例えば、小さな子供を抱えている女性が安心して働くことができるように、1時間単位で有給休暇をとれるようにしたり、多能工化(1人の人が複数の作業をできるようにすること)を推進して、急な遅刻や早退に柔軟に対応できるようにしたりしています。また定時に退社できるように、休日や休暇を確実に取れるように、従業員一人ひとりが協力し合う社内の風土づくりにも努めています。

一般に、ものを作るのが好きな人、例えば、料理や手芸が好きな人、決められたことを繰り返しコツコツできる人、そして好きなことに集中できる人は、ものづくりの仕事に向いているといえます。とくに女性はどんな些細な仕事でも手を抜かずに最後まできちんとやり遂げると評判です。

ものづくりの現場には、工作機械を使って部品を加工したり、製品を組み立てたり、出来上がった製品を梱包したりする作業に加え、原材料・部品・完成品の検査とそれらデータを管理する品質管理の業務、生産計画を作成して生産指示を出し、計画どおりに生産できているかどうか進捗を管理する生産管理の業務、原材料や部品を取引先に発注したり、コストダウンや納期変更などをお願いしたりする購買の業務などがあります。これまで男性中心の職場のイメージがありましたが、今、女性の進出が期待されています。

このようにものづくりの現場は、子育てに配慮した制度、職場風土や仕事の内容が女性の適正を生かせるなど、とても働きやすく、やりがいがあるといえます。

では一方、女性自身はものづくりをどのように考えているのでしょうか。同じく昨年の秋に行った調査の結果※2によりますと、残念ながら、多くの女性は事務や接客といった仕事をしたいと思っており、ものづくりへの関心は高いとはいえません。その最大の原因は、ものづくりのことを知らないからです。知らないから関心もないし、働いてみたいとも思わないというのが実状のようです。

市内のある食品の製造販売会社に聞いてみたところ、以前は求人募集をしても、製造職の応募は少なかったそうですが、一度ものづくりの職場の良さを知ってしまうと辞めるところか、現在では口コミで多くの求職者が応募してくるそうです。これは販売職(接客業務)の比ではないそうです。

それでは現在、ものづくりの職場で頑張っている女性を紹介します。

※1 (公財)アジア女性交流・研究フォーラム
『市内企業の女性活躍推進に関する調査』(平成27年度)

※2 北九州市立大学『女子大生の就業意識調査』
『子育て世代の就業意識調査』(平成27年度)



三菱化学株式会社
黒崎事業所
機能化学生産センター
生産管理室

みやじま かおり
宮嶋 香織 さん

バブル全盛期、地元の優良企業ということから入社したのが三菱化学でした。当初漠然と事務をするのかなと思っていましたが、配属されたのは出来上がった化学製品を検査する部門でした。理系の出身ではないことから、一から化学の勉強をしなければならず、会社の化学教室に通うなど、苦労して技術や技能を身に付けました。その後、さまざまな製品の分析や検査の仕事を経験し、現在は生産管理の仕事をしています。

生産管理の仕事は、お客様が必要なものを必要な期日までに届けるために製造現場や関係部門と調整する、いわば生産活動の司令塔でもやりがいのある仕事です。仕様変更やトラブル等があった時には迅速に関係部門の方々と協議し、納期遵守できるように対応が必要です。

そのため関係部門の方々とは常日頃からコミュニケーションを取るとともに良いチームワークづくりに努めています。今後はコストダウンや生産性向上に向けた提案をしたり、ある程度誰でも生産計画が立案できるようにマニュアルを作成するなど、今よりもワンランク高い目線で仕事に取り組んでいきたいと思っています。

製造業の社員は女性が少しずつ増えてきたとはいえ、まだまだ男性が圧倒的に多い職場です。女性が働きやすい職場環境を整備するとともに、女性自身もその中で負けない強い心を持つ必要があります。昨今、社会全体として女性の活躍推進が叫ばれていますが、これが一過性のもので終わらないように、特に若い女性のキャリア形成などをこれまでの経験を生かして応援していきたいです。

インタビュー

小さい頃から手に技術を身に付けたいという思いがあって、洋裁の学校に入学しました。実習をしたりする中で、モノをつくる仕事がしたいと思うようになり、先生や先輩の薦めもあって、入社を決めました。

私の仕事は、障がいのある方一人ひとりの身体にあった肘や膝、足首などを保護するサポータを製作することです。そのためには通常の直線縫いのミシンではなく、ジグザグ縫いができるミシンなど、特殊なミシンを使いこなさなければなりません。当初、慣れるまで大変でしたが、上司や先輩の助けもあって、また練習の甲斐もあって、今では大半のミシンを使いこなすことができて

きるようになりました。難しいものに挑戦して、やり遂げたときの達成感は格別です。また仕事では使う方のことを思い、丁寧に仕事をするのを心掛けています。現在8年目、有菌製作所に入社して本当に良かったと思っています。今後はこれまで培ってきた技術を生かして他の福祉用具の製作や先輩の指導にもチャレンジしたいと思っています。

ものづくりの魅力は、作ったものが人々の暮らしを豊かにすることを実感できることです。器用で工夫することが好きな人がものづくりに向いていると思います。女性にはものづくりの現場にぜひ一歩踏み出してほしいですね。



株式会社有菌製作所
リハ機器課 リハ機器係

さいとう あんな
齊藤 杏菜 さん



株式会社ごとう醤油
製造係

こしょうじ まほ
古小路 真帆 さん

学生時代から、生まれ育った北九州の発展のために何かしたいと思っていました。就職活動の最中、ごとう醤油が北九州産の野菜や海の幸を使った調味料を開発していることを知り、従業員の募集はしていなかったのですが、この会社でどうしても働きたいと思い、履歴書を持って思い切って門をたたきました。

思いだけは誰にも負けない自信があったのですが、醤油づくりについては、何も知りませんでした。とにかく何でもやってやろうというチャレンジする気持ちを motto に、分からないことは恥ずかしがらずに聞き、そして必ず文書で残すようにしています。また帰宅してから、母と一緒に新たなレシピの開発に励んでいます。入社

して早5カ月、失敗と発見の連続ですが、毎日が楽しくて仕方ありません。また今は製造の仕事をしていますが、将来的には商品企画や営業などの仕事にも携わり、オールラウンドプレイヤーを目指します。

ものづくりは楽しい、これが私の率直な感想です。根気強い人、細かいことに気が付く人は特に向いていると思うので、知らないから止めようではもったいない。食わず嫌いにならず、興味のない分野でも飛び込んでみると、思いがけない発見や気付きがあるかもしれません。多くの女性はものづくりのことを知らないと思いますので、工場見学や体験ができるような機会を通してふれあうことで、ものづくりへのきっかけにしてほしいです。

ムーブフェスタ 2016

報告

オープニングイベント 平成28年7月2日(土) 13:30~15:00
ムーブ 2階 ホール

大森美香さん講演会 あさが来た!

一人ひとりが輝く朝を迎えるために

『あさが来た』のヒロインを演じられているのは女優の波瑠(はる)さんです。ヒロインのオーディションというのは、脚本が固まって、他のキャストが少しずつ決まり始めた頃に開催されます。今回のオーディションの条件は、あさの少女時代から晩年にかけて演じられるかどうか、また、相撲を取っても上品ということで、波瑠さんはその条件をクリアしており決定しました。2次審査では、相撲審査もありました。波瑠さんは、しこの踏み方の勢いも良いとききましたし、また、劇中であさが唇をつまむシーンがあるのですが、波瑠さんは、つまんだ唇がよく伸びました。

ところで、皆さんは、なでしこ銘柄を御存じでしょうか。東京証券取引所と経済産業省が年に1回やっているイベントで、女性が活躍することを推進している企業を表彰しようという取り組みがもう何年も続けられています。私はこの話を聞いたときに女性が会社の中で頑張るのは当然のことのはずなのに、なぜ表彰制度があるのかな、と思ったのですが、表彰することによって少しずつでも底上げをしていくことが非常に大事なのだと、そのイベントに出て痛感しました。実際、なでしこ銘柄を受けている会社と取引しようとか、この会社に就職しようとか、少しずつ認知されはじめていくということです。なでしこ銘柄のような取り組みがまだまだ日本には必要です。女性が働く事がもっともっと普通になったり、企業で働くということだけでなく家で働くことであってもいいし、誰かの役に立つということでも、全く構わないと思うのですが、女性がひとつの活躍する場を持てるということが自然になっていくことが大切だと『あさが来た』を書き終えて改めて感じました。

日本の男性は育児、家事を担う率が、先進国としては非常に低い。これは日本の男性が悪いというわけではなく、江戸時代より前から、男性が外に出てお金をかせいでくる、女性が家を守るということが教育の中に組み込まれているからです。明治の初期に、日本が欧米に追いつかなくては行けない、鎖国で遅れていた日本を一刻も早く取り戻さなくては行けない、男だけ頑張っても駄目だから、国民全員が頑張らないといけな、女子の教育を

オープニングではNHK朝の連続テレビ小説『あさが来た』の脚本家の大森美香さんにご講演いただきました。



頑張ろうと女子教育を進めていました。すると、女子の教育が進み過ぎて、こんなことでは良妻賢母がいなくなることになって、明治20年くらいになると明治政府が、「女子教育はやりますけれども、良妻賢母教育にしてください」ということを言い出して女子はそこまでは勉強しなくてもいい、ただ、家事で役立つことは勉強しましょう、と方針を変えました。そんなことでいいのかと言ったのがドラマの中に出てきた成沢先生、実際には成瀬仁蔵先生という日本女子大学を創立された大変な教育家です。それでも、良妻賢母教育が進み、明治から昭和、平成と来て、今の教育に繋がっています。

今の若い男性たちも、必ずしも女性が外で働くことがいいとは思っていない人もいます。4才の娘は先生に「ご飯はお母さんが作るものです」と言われたりします。娘が「それが普通なんだよ」とうちに帰ってきて言います。男の子だって丁寧に気遣いが出来たほうがいい。女の子だって、みんなを仕切れて頑張れた方がいいわけですが、男の子だから、女の子だからとつい言うところがあります。

役に立てるところには誰かが行く、助けられるところには助けに行く。外国の方であっても健常者であっても、その人のパーソナリティに合った、自分の活かせるところで何か頑張ればいいのです。

そういうことを少しずつでもやっていけば女性だけではなく一人ひとりみんなが輝ける社会を作っていけるのではないかな、と私は脚本を書きながら思っています。



うえやまとちさん トークショー & おにぎらずレシピコンテスト表彰式

平成28年7月9日(土) 13:00~14:30 ムーブ 1階 交流広場

『クッキングパパ』作者うえやまとちさん発案の「おにぎらず」のレシピコンテストを開催しました。



昨年の流行語大賞50語にノミネートされた「おにぎらず」。忙しくて時間がない時や行楽のお弁当に、簡単にできる「おにぎらず」のレシピを、市民の皆さまより多数のご応募をいただき、事前の試食審査会にて受賞作品を決定いたしました。うえやまとちさんも「おにぎらずが、すっかり皆さんに浸透していることがとても嬉しい」と言われていました。表彰式では、うえやまとちさんのサイン色紙やカタログギフトなど、すてきな賞品が受賞者の皆さまに贈られ、たくさんの喜びの声を聞くことができました。



トークショーでは、漫画を描き始めたきっかけや、おすすめ料理、北九州の好きな料理など、楽しくお話ししていただきました。『クッキングパパ』の主人公は、自身もイクボスでありながら、家事や育児に積極的に取り組み、仕事が生かしの妻のために料理を作るのが大好き。そんな主人公が、うえやまとちさんの「かっこいいお父さん像」だそうです。週刊漫画の連載は毎週締切に追われていて、メニューがなかなか決まらないなど苦労話もあり、会場の皆さまも興味深く聞き入っていました。

また、イベントと同時に、フードドライブ(NPO法人フードバンク北九州ライフアゲイン)と食品ロス削減学生プロジェクトのブースを設置。来館の皆さまに、さまざまな活動をPRし、興味を持っていただくきっかけになりました。

フードドライブに食品をご寄付いただいた皆さま、ご協力ありがとうございました。

★受賞作品★ (敬称略)

- 最優秀賞
食べてほしい魚天プラおにぎらず 安藤 栄子
- うえやまとち賞
漢の荒ぶるオムぎらず Mr.ダンディズム
- 優秀賞
お弁当の具おにぎらず 土谷 芽衣
ひじきとスライスチーズ巻きの
おにぎらず 青木 喜久子
おかずいらす 上本 泰子
- ムーブ賞
豚キムにぎり ケアマネコ
そばめし クローバー
おつまみおにぎらず 中田 沙紀
スタミナ満点☆韓国風おにぎらず 磯 杏子
うなぎにあらず、
おにぎりにあらずの「うなぎらず」 三浦 恵美

★レシピ紹介★



●最優秀賞
食べてほしい
魚天プラおにぎらず

【材料】
のり(1枚)、ご飯(150g)、
ゆかり(4g)、いわし天(1尾)、
かぼちゃ天(2枚)、しその葉(2枚)



●うえやまとち賞
漢(おとこ)の
荒ぶるオムぎらず

【材料】
ご飯(茶碗一杯より少ない程度)、
ケチャップ(適量)、塩コショウ(適量)、
コンソメ(適量)、鳥もも肉(60~70g)、
スライスチーズ(1枚)、卵(1個)、
レタス(1/2枚程度)

第19回

ジェンダー問題 調査・研究報告会

平成28年7月8日(金) 19:00~20:30
ムーブ 5階 小セミナールーム

テーマ

海運業界における 男女共同参画推進のための研究

海運業界における現在のジェンダー形成の状況を分析し、文献および、海運事業者、女性船員に対して調査を実施することで、海運業界での男女共同参画の実現を模索した。

海事史において、女性船員は19世紀から存在していた。しかし、日本では女性を船員として雇用している事業者は少ない。現在、海運業界では船員不足の問題があり、その解消のため、IMO(国際海事機関)では女性雇用促進を推奨しているが、このプログラムは民間では機能していない。

事業者は、女性船員を雇用することに対しては、男女では体力的な差異はあるが、知識や技術的な差は感じていないため、必ずしも否定的ではない。船員不足は、特に内航海運で深刻であるにもかかわらず、外航に比べて女性の雇用には消極的である。これは、事業者の資力の問題であり、余裕を持った雇用や女性のための船内設備の整備が実現できないことが影響している。また、女性のプロ意識の低さも影響している。

海運業界は男社会であるというジェンダーの固定観念があり女性船員は極めて少ない。海運業界の男女共同参画の実現を考えた場合、女性が参画しがたい理由を分析



【報告者】
独立行政法人国立高等専門学校機構
大島商船高等専門学校 教授
いしだ よりこ
石田 依子 さん



【コメンテーター】
(株)神戸クルーズ・
コンチェルト 会長
なんぶ まちこ
南部 真知子 さん

し、男女に関係なく資質ある人が参加するためにはどのような社会・空間を構築するべきかを考えること、また、女性船員は海運業界をよく理解し、事業者は女性船員に対し先入観を捨てる必要があると提言があった。

コメンテーターから、雇用者側としては、例えば、妊娠した時など母性を守るため、船上から地上勤務に配置換え等を想定して雇用する努力が必要になる。だからこそ、男女は同じ物差しで測るのではなく、互いに長所を認め合うことで共存できる。

働く女性に必要なことは、妊娠・出産のため一時、最前線から離れたとしても、戻ってきたときに向上させてもらえる組織であることをしっかり確かめて組織を選ぶこと。子育てかキャリアかを優先づけること自体ナンセンス。絶対にこの職業を続ける、それにより自分を高め続けたいという、覚悟と固い意志を持って働くこと。生半可な気持ちではダメと、ご自分の生き方に触れながら講評とお話をいただいた。

サマーカーニバル

平成28年7月16日(土)
ムーブ 1階 交流広場

今年は13団体の楽しいステージが繰り広げられました。



マガジン リサイクル御礼!!

平成28年7月2日(土)~21日(木)
ムーブ 1階 図書・情報室入口

ムーブ図書・情報室の蔵書のうち、保存年限を過ぎたため除籍した雑誌等を、無料でお持ち帰りいただきました。おかげさまで、たくさんの本がリサイクルできました。

フリーマーケット

平成28年7月2日(土)
~23日(土)
ムーブ 1階 交流広場

フェスタ期間中、交流広場では32のフリーマーケットで賑わいました。



行列のできる!? 法律相談Q&A

平成28年7月16日(土)
ムーブ 1階 交流広場

法テラス北九州の弁護士を講師に迎え、相続問題や近隣トラブル、クーリングオフ制度など、誰にでも起こりうる身近なトラブルをクイズ形式で解説するイベントを開催しました。「クイズ形式で楽しかった。解説が解りやすかった」等のご意見があり、市民の皆さまに法テラスやムーブ相談室のことを知っていただく良い機会になりました。

【講師】
法テラス北九州 法律事務所 弁護士
ありもと しゅうへい
有本 周平 さん



講座報告

平成28年度

私がわたしのベストフレンド! Part2 ~心地よく生きるためのフォーカシング入門~

平成28年5月21日(土) 14:00~16:30 ムーブ 5階 小セミナールーム

この講座は、昨年度好評をいただいた「私がわたしのベストフレンド!」の第2回目となります。今回は、自分の内側に優しく注意を向ける「フォーカシング」をテーマに開催しました。

臨床心理学者のユージン・ジェンドリン氏が開発したフォーカシングは、うまく言葉にはできないけれど確かにそこにある感じ(フェルトセンス)に気づき、認め、優しい態度で注意を向けることを大切にします。たとえそれがネガティブな重たい感じであったとしても、それを否定せずに穏やかに呼びかけ一緒にいると、少し楽になったり、新たな気づきが得られたりするのです。

黒瀬さんの穏やかな語りに合わせて、「現在気になっていること」をテーマにフォーカシングをして、自分がどのように感じているか注目してみたところ、参加者の皆さんから、「自分とじっくり向き合えました」、「他人に優しくしてばかりだったが、自分にも優しくしていいのだと気づきました」という感想



【講師】
臨床心理士・
東亜大学非常勤講師・
ムーブ特別相談員

くるせ
黒瀬 まり子 さん

をいただきました。

相談室では、これからも皆さんのところが元気になるような、さまざまな取り組みをしていきたいと考えています。また「私がわたしのベストフレンド!」は、先日の熊本地震で被災された熊本市男女共同参画センターで、出前講座として開催されることになりました。

おとこの魅力アップシリーズ 片付け男子初級編

平成28年6月11日(土) 10:00~12:00、13:30~15:30 ムーブ 5階 大セミナールーム

毎年好評につき、今年度からボリュームアップした男性向けの単発講座「おとこの魅力アップシリーズ」。今年度第1回目のテーマは「お片付け」!過去の講座を終えた受講者からのアンケートで「ぜひ整理整頓、収納の講座を」と言う声が多く、早速開催しました。

午前中だけの開催予定でしたが、定員を倍以上に上回ったため、昨年度の「アイロン男子」に続き、今回も午後の講座を追加開催。参加者のほとんどが片付け下手な男子たち、完全に目から鱗。「実務的で分かりやすく大変参考になった」「片付けの理論が面白い」「すぐに片付けを始めよう



と思う」という感想が多い中、「妻の家事の負担を減らしたい」という男性も。今後も、さまざまな講座で、男性の魅力をアップさせていく予定です。

キャリア形成プログラム

平成28年5月13日(金) 西日本工業大学
平成28年6月13日(月)・17日(金) 西南女学院大学
平成28年6月21日(火) 北九州市立大学

大学生を対象に、卒業後の進路や働き方を決めるにあたって役に立つ情報の提供と、自分の生き方や働き方を考えるきっかけとなるよう、北九州市内の各大学で「キャリア形成プログラム」を実施しています。今年度は6大学での講義を予定しており、さまざまな講師によってデータや事例、普段の授業では聞けない体験談などを紹介します。

就職を前にした学生の中には、まだ「働くこと」について明確なイメージをもっていない学生も多く、「自立すること、将来の生活についていろいろ考えさせられました」などの感想が寄せられました。また女性をとりまく社会環境を紹介し、各国に比べて女性の社会進出が遅れている日本の現状と、仕事と子育てとの両立について考えてもらいました。

実際活躍されている社会人から直接話を聞き、近年多様化している雇



用環境の説明を受けたことによって、自分の人生を自分で決める「自立した進路選択」、女性も男性も「自分らしく生きること」を具体的に考える第一歩となったようです。